

第70期

年次報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

株 主 の 皆 様 へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、ありがたくお礼申し上げます。

さて、当社グループ第70期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）を終了いたしましたので、事業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益は底堅く推移し、雇用情勢の改善傾向が続く等、緩やかな回復基調で推移しましたが、新興国経済の景気減速、英国のEU離脱および米国新政権の政策運営による影響の不確実性から、先行き不透明な状況が続いております。

また、当社の業績に影響のある国内向け設備投資につきましては、一部の企業や業種では主要製品の増産等を計画する新規設備投資の動きがありましたが、多くの企業では依然として設備投資意欲は高まらず、慎重な姿勢が維持され、既存設備の維持・更新が中心となりました。

このような状況のもと、連結受注高は210億99百万円（前期比22.1%増）となりましたが、連結売上高は173億31百万円（前期比15.8%減）となりました。

損益面につきましては、営業利益は9億51百万円（前期比21.5%減）、経常利益は9億75百万円（前期比16.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は6億31百万円（前期比4.3%減）となりました。

来期につきましては、当社グループは引き続き製品やサービスの品質向上に取り組むとともに、受注・売上拡大に注力し、利益の確保に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

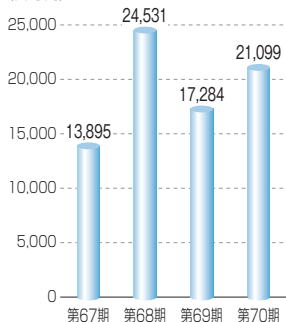
平成29年6月



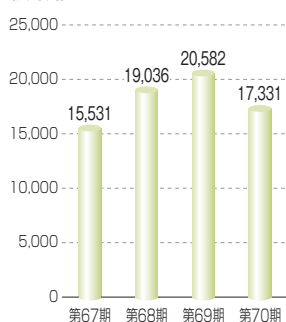
代表取締役社長

小林 康眞

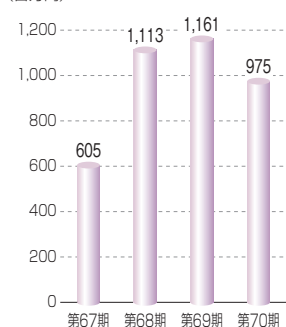
■受注高
(百万円)



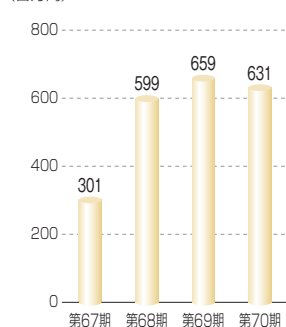
■売上高
(百万円)



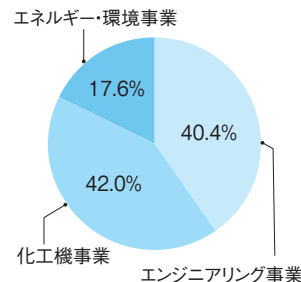
■経常利益
(百万円)



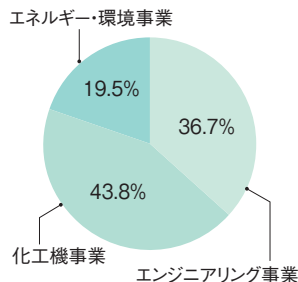
■親会社株主に帰属する当期純利益
(百万円)



■受注高



■売上高



【エンジニアリング事業】

化学機械装置の設計・製作・据付工事を行うエンジニアリング事業につきましては、営業体制の強化を行うとともに、設備投資を計画する顧客を中心に技術力を前面に打ち出した企画提案型の営業活動を積極的に展開し、大型案件を含む受注の確保に注力しました。

その結果、連結受注高は85億26百万円（前期比21.9%増）、連結売上高は63億56百万円（前期比33.4%減）となり、営業損失は66百万円（前期は営業利益74百万円）となりました。

【化工機事業】

化学機械装置の現地工事・メンテナンス業務を行う化工機事業につきましては、顧客が設備投資に対し慎重な姿勢を維持し、既存設備の効率性の向上や保全・更新の各工事が主たる業務となりましたが、設備投資を計画する顧客に対しては積極的な営業活動を展開し、受注および売上増加を図りました。

その結果、連結受注高は88億65百万円（前期比23.9%増）、連結売上高は76億1百万円（前期比7.1%増）となり、営業利益は7億81百万円（前期比33.9%増）となりました。

【エネルギー・環境事業】

原子力を含むエネルギー・環境関連機器の設計・製作・設置工事を行うエネルギー・環境事業につきまし

では、主として福島第一原子力発電所関連業務の設計・製作・設備の受注および売上に注力しました。また、年央以降、原子力発電所の再稼働および安全審査後の核燃料サイクル施設関連業務の受注に注力しました。

その結果、連結受注高は37億8百万円（前期比18.2%増）、連結売上高は33億73百万円（前期比14.3%減）となり、営業利益は2億35百万円（前期比57.4%減）となりました。

【対処すべき課題】

今後のわが国の経済情勢は、引き続き、海外の政治、経済、金融、貿易の動向に留意する必要があり、予断を許さない状況が続くものと思われます。このような中での当社の基本的課題は、厳しい状況下でも一定の成果を挙げる基盤強化であると考えております。

このような認識に立ち、平成28年度から平成30年度までの第11次中期経営計画を決定いたしました。同計画で、スローガンを「新たな飛躍に向け基盤の強化」とし、業績目標につきましては売上高200億円、経常利益10億円を従業員400名程度で継続的に達成することを掲げました。

この目標達成に向け、当社は営業・技術・組織の各基盤の一層の強化を行い、それらの基礎となる「技術のキムラ」「品質のキムラ」「人材のキムラ」「組織のキムラ」「安全のキムラ」を総称した「キムラブランド」を確立させ、企業価値向上を目指してまいります。

エンジニアリング事業につきましては、設計、製作、建設、据付工事、試運転という一連の業務を一括受注するビジネスモデルを広く定着させるため、営業体制の一層の充実を図るとともに、当社の強みである技術力を前面に打ち出した企画提案を行います。加えて、万全な現地工事管理体制のもと、原価低減に努めてまいります。そのために、ホームページ等の媒体を通じ、当社が総合プラントエンジニアリング会社であることの訴求力向上を図ります。

化工機事業につきましては、営業力強化のため、顧客のニーズに即応できる人材を強化・拡充するとともに、各事業所・出張所と連携する組織横断タスクチームの積極的な活動により、顧客の情報収集に努め、受注活動およびメンテナンスエリアの拡大に一層注力します。また、工事監督者育成のための教育研修を充実させ、人材基盤強化を図ります。

エネルギー・環境事業につきましては、福島第一原子力発電所においては、廃炉・廃止措置対応としての汚染水処理関連業務および除染・解体工事、遠隔保守対応の設計・製作業務に関する受注、核燃料サイクル関係では、青森県六ヶ所村の再処理工場、ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料（MOX燃料）加工工場の安全審査終了を見据えた耐震基準および火災・爆発対応の見直し設計・改造業務等の新規制基準対応業務の受注に努めてまいります。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 | 前連結会計年度 (平成28年3月31日現在) | 当連結会計年度 (平成29年3月31日現在) |
|-------------|---------------------------|---------------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 14,243 | 13,483 |
| 固定資産 | 6,913 | 7,122 |
| 有形固定資産 | 5,118 | 5,161 |
| 無形固定資産 | 35 | 28 |
| 投資その他の資産 | 1,760 | 1,933 |
| 資産合計 | 21,156 | 20,606 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 9,348 | 8,300 |
| 固定負債 | 4,108 | 3,724 |
| 負債合計 | 13,456 | 12,024 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 5,535 | 6,209 |
| 資本金 | 1,030 | 1,030 |
| 資本剰余金 | 103 | 103 |
| 利益剰余金 | 4,907 | 5,407 |
| 自己株式 | △ 505 | △ 331 |
| その他の包括利益累計額 | 2,164 | 2,372 |
| 純資産合計 | 7,700 | 8,581 |
| 負債及び純資産合計 | 21,156 | 20,606 |

連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 前連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで) | 当連結会計年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで) |
|-----------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 売上高 | 20,582 | 17,331 |
| 売上原価 | 17,542 | 14,575 |
| 売上総利益 | 3,039 | 2,756 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,828 | 1,804 |
| 営業利益 | 1,211 | 951 |
| 営業外収益 | 43 | 54 |
| 営業外費用 | 94 | 30 |
| 経常利益 | 1,161 | 975 |
| 特別利益 | — | 2 |
| 特別損失 | — | 51 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,161 | 926 |
| 法人税等合計 | 501 | 295 |
| 当期純利益 | 659 | 631 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 659 | 631 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 前連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで) | 当連結会計年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで) |
|------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | △ 1,420 | 1,179 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △ 263 | △ 120 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △ 97 | △ 748 |
| 連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額 | — | 122 |
| 現金及び現金同等物 の期末残高 | 2,326 | 2,751 |

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

会社概要 (平成29年3月31日現在)

商号 木村化工機株式会社
本社 〒660-8567 兵庫県尼崎市杭瀬寺島二丁目1番2号
☎ (06) 6488-2501
創業 大正13年11月
設立 昭和25年6月9日
資本金 1,030,000,000円
従業員数(連結) 355名

役員 (平成29年6月23日現在)

| | |
|--------------|------|
| 代表取締役社長 | 小林康真 |
| 常務取締役 | 福田正行 |
| 常務取締役 | 梅澤茂 |
| 取締役 | 矢野謙介 |
| 取締役 | 天野次郎 |
| 取締役 | 福森文男 |
| 取締役 | 佐伯博 |
| 取締役(常勤監査等委員) | 喜多芳文 |
| 取締役(監査等委員) | 山崎幹男 |
| 取締役(監査等委員) | 伊藤哲夫 |
| 取締役(監査等委員) | 田中圭子 |
| 取締役(監査等委員) | 浅田敏一 |

(注) 取締役(監査等委員) 山崎幹男氏、伊藤哲夫氏、田中圭子氏、浅田敏一氏は、社外取締役であります。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に向け、詳しいIR情報を掲載しておりますので、是非ご覧ください。

<https://www.kcpc.co.jp/irinformation/>

支店・工場・事業所 (平成29年3月31日現在)

東京支店 〒110-0015 東京都台東区東上野一丁目2番13号
カーニープレイス新御徒町
☎ (03) 3837-1831
尼崎工場 〒660-8567 兵庫県尼崎市杭瀬寺島二丁目1番2号
☎ (06) 6487-2300
静岡工場 〒417-0002 静岡県富士市依田橋芝添337番地の1
☎ (0545) 32-1085
愛媛工場 〒791-3102 愛媛県伊予郡松前町北黒田930
☎ (089) 984-2145
大分工場 〒870-0114 大分県大分市小中島三丁目1番2号
☎ (097) 521-2281
茨城事業所 〒312-0031 茨城県ひたちなか市後台字片岡460番541
☎ (029) 274-3001
東海事業所 〒411-0942 静岡県駿東郡長泉町中土狩229番地の7
☎ (055) 986-2276
中部事業所 〒455-0057 愛知県名古屋港区築盛町70番地2
☎ (052) 654-8151
東中国事業所 〒702-8041 岡山県岡山市南区富浜町3番3号
☎ (086) 902-0770
西中国事業所 〒746-0022 山口県周南市野村一丁目19番7号
☎ (0834) 62-2978
四国事業所 〒791-3102 愛媛県伊予郡松前町北黒田930
☎ (089) 984-2145
九州事業所 〒870-0114 大分県大分市小中島三丁目1番2号
☎ (097) 521-2281

子会社 (平成29年3月31日現在)

三原木村工機株式会社 〒723-0052 広島県三原市皆実四丁目9番26号
☎ (0848) 62-3174
フォロコ株式会社 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町639
☎ (045) 633-7350
株式会社サモド・サービス 〒660-0813 兵庫県尼崎市杭瀬寺島二丁目1番2号
☎ (06) 6488-2780

株式の状況

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

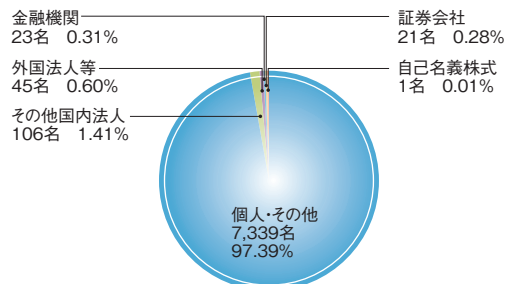
| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 82,400,000株 |
| 発行済株式の総数 | 20,600,000株 |
| 株主数 | 7,535名 |

大株主 (上位10名)

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|---------------------------|---------|------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,079千株 | 5.2% |
| 東レ株式会社 | 997 | 4.8 |
| 木村化工機関連グループ持株会 | 868 | 4.2 |
| 株式会社奥村組 | 719 | 3.5 |
| 日本生命保険相互会社 | 613 | 3.0 |
| キムラ従業員持株会 | 608 | 2.9 |
| 三井住友信託銀行株式会社 | 600 | 2.9 |
| 小林 薫 | 450 | 2.2 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 417 | 2.0 |
| 木村孝吉 | 408 | 2.0 |

(注) 持株比率は、自己株式(166,578株)を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



(注) 大株主(上位10名)の持株数および持株比率は、表示単位未満を切り捨て、所有者別株主分布状況の株主数比率は、表示単位未満を四捨五入して表記しております。

第70期 定時株主総会について

平成29年6月23日に第70期定時株主総会が開催され、下記のとおり
に報告ならびに決議されました。

記

- 報告事項**
- 第70期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記事業報告の内容、連結計算書類の内容およびその監査結果を報告いたしました。
 - 第70期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)計算書類報告の件
本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案** 取締役(監査等委員である取締役を除く。)7名選任の件
本件は、原案どおりに承認可決され、取締役(監査等委員である取締役を除く。)に小林康真氏、福田正行氏、梅澤茂氏、矢野謙介氏、天野次郎氏、福森文男氏および佐伯博氏の7名が再選され、それぞれ就任いたしました。
- 第2号議案** 大規模買付行為への対応方針(買収防衛策)継続の件
本件は、原案どおりに承認可決されました。

以上

株主メモ

| | |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月に開催いたします。 |
| 基準日 | 毎年3月31日（その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。） |
| 単元株式数 | 100株 |
| 公告の方法 | 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 (https://www.kcpc.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。 |
| 上場証券取引所 (金融商品取引所) | 東京証券取引所第一部 |
| 証券コード | 6378 |
| 株主名簿管理人 および 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先) | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | ☎0120-782-031 |
| (インターネット ホームページURL) | http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html |

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、左記の電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

木村化工機株式会社

〒660-8567 兵庫県尼崎市杭瀬寺島二丁目1番2号

<https://www.kcpc.co.jp/>